

第1章 背景目的等

1. 調査研究の背景・目的
2. 調査研究の概要

第1章 背景目的等

1. 調査研究の背景・目的

多くの自治体では、人口減少や少子高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面している。

そこで「関係人口」と呼ばれる、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々が新たな地域づくりの担い手として期待されている。全国の自治体では、関係人口創出に向けた取組が行われ、これらの様々な事業をきっかけに地域の活性化に新たな展開を起こし始めている。

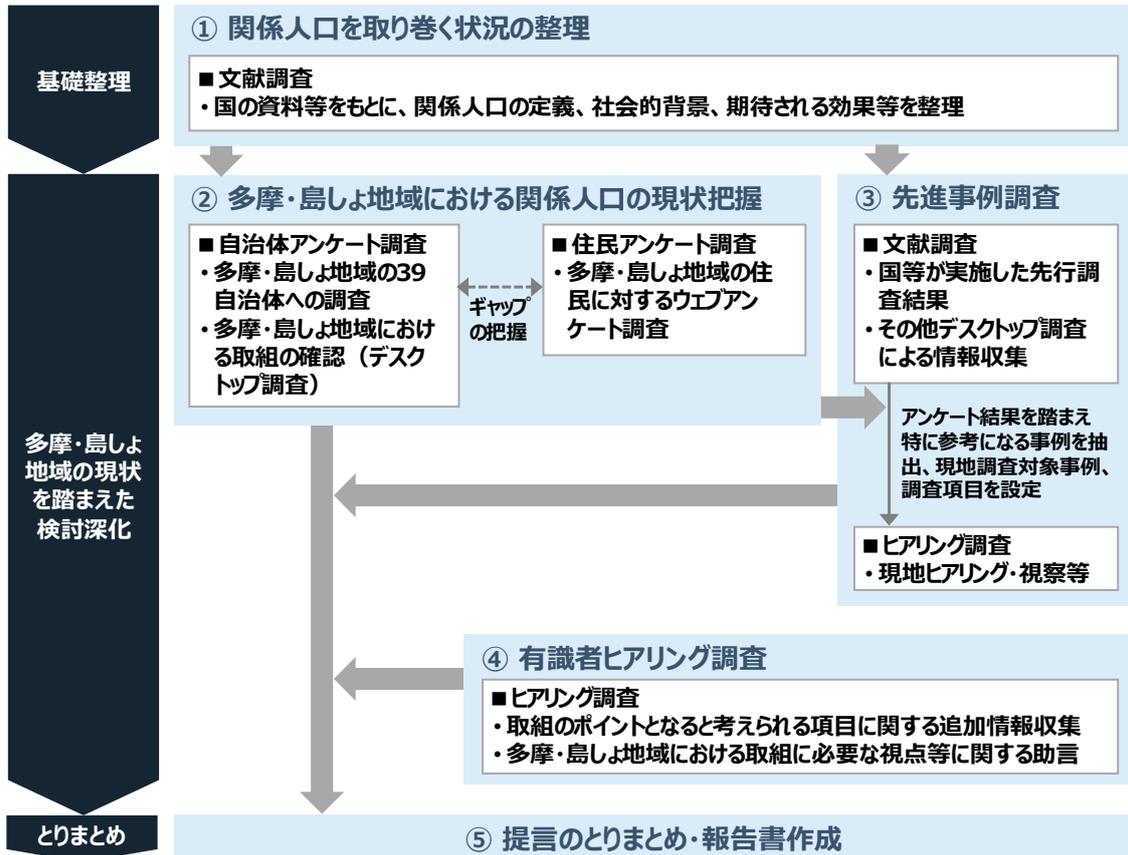
本調査研究では、関係人口をまちづくりの新たなパートナーとして地域活性化に向けた事業を展開する自治体の取組を調査研究し、自治体が関係人口とともに創る持続可能な地域づくりについて提案することを目指す。

2. 調査研究の概要

(1) 調査の全体像

本調査研究の構成と各調査方法の関係は次のとおり。

図表1-1 調査研究の実施フロー



(2) 調査項目の概要

① 関係人口を取り巻く状況の整理

社会的背景、定義、関係人口の分類、期待される効果、中間支援の役割の重要性、関連政策等について、文献調査を実施した。

② 多摩・島しょ地域における関係人口の現状把握

ア 自治体アンケート調査

多摩・島しょ地域における関係人口の取組に係る現状、課題、今後の取組意向等を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

イ 住民アンケート調査

多摩・島しょ地域の居住者約2,500名を対象に、地域の課題に対する認識・関係人口への期待、関係人口としての関わり・意向の有無等についてウェブアンケート調査を実施した。

③ 先進事例調査

先進的な取組をしている自治体・団体を対象に、取組の背景・目的、内容等について文献調査を実施した。また、取組内容の深堀と課題と対応策等を把握するためヒアリング調査を実施した。次の先進事例調査対象一覧のうち「ヒア」の列に○を付している事例は、ヒアリング調査を実施したものである。

図表1-2 先進事例調査対象一覧

事例（取組の実施場所）		ヒア
取組の内容に着目して抽出した事例		
1	ひがしかわ株主制度・写真の町課による取組等（北海道東川町）	
2	ゆざわローカルアカデミー（秋田県湯沢市）	
3	鹿角家（秋田県鹿角市）	○
4	if design project（茨城県）	
5	Tsukuba STEAM Building（茨城県つくば市）	
6	NFT×デジタル村民（新潟県長岡市）	
7	都市部のクリエイティブ・クラスターに向けた文化創造都市高岡情報発信事業（富山県高岡市）	
8	分数村民制度（山梨県小菅村）	
9	ヒダスケ！-飛騨市の関係案内所-（岐阜県飛騨市）	○
10	“域学連携発”ローカルイノベーション（兵庫県洲本市）	○
11	複業推進プロジェクト・大人の島留学・離島キッチン等（島根県海士町）	
12	全国阿波おどり「連」関係人口化事業（TOKUSHIMA-RENプロジェクト）（徳島県美馬市、佐那河内村、美波町）	
13	対馬学舎（長崎県対馬市）	
14	五島ワーケーション・チャレンジ（長崎県五島市）	○
地域と関係人口をつなぐ存在に着目して抽出した事例		
15	関係案内所はつひので@材木座（神奈川県鎌倉市）	
16	湖北の暮らし案内所どんどん（滋賀県長浜市）	
17	株式会社SAGOJO（全国）	○*

※株式会社SAGOJOは有識者ヒアリング調査として実施。

④ 有識者ヒアリング調査

学識的あるいは実務者としての観点からの見解を得ることを目的に、多摩・島しょ地域における特徴を踏まえた取組推進にあたり必要な視点等について有識者ヒアリング調査を実施した。

⑤ 提言のとりまとめ・報告書の作成

調査結果を踏まえた提言を報告書としてとりまとめた。